

はじめ

私たちの班は、Devilティーレックスという、主人公の高橋が、ティラノサウルスがうろついている暗い3Dマップから脱出を試みるという、探索型ホラーゲームを作りました 今皆様のお手元にある発表資料には、私たちが11月ごろに作成した、先ほどのホラーゲームの説明が記載されています しかし、この発表資料作成後に、私たちは趣を変え、このゲームを大改造し ホラー要素以外にも、様々な面白さを導入した、新しいゲーム作品へと進化させました 30分から3時間以上に六倍以上伸び、登場キャラがおおよそ4倍に!!濃厚なストーリーを主人公とともにたどることができます ですので、今回発表するゲーム作品は、発表資料に記載されたゲームを大きく改造させたものとなっています

スタート画面系

それでは、●改造後のゲームの説明にうつります。まずゲームを立ち上げると●このような、ぐっとナチュラルパーソンマークが出る映像と、ティラノが叫ぶ映像が流れだします●しかもこの際に、映像が長いと感じたら、スキップしてすぐスタート画面に移ることもできます そして、スタート画面では、●この黒いティラノサウルスがこのように動くようになっております そして、改造前は、この画面内のスタートという欄をクリックすれば、先ほどの脱出3Dホラーゲームが遊べるように作られていましたが、改造後は、スタートボタンを押すと、このように●3つのゲーム開始ボタンが表示され、この画面から3種類のゲームが遊べるようになっております この3つのゲームについては、後ほど説明していきますが このうち、上から数えて3番目にあるゲームは私が制作を手掛けたものになるので、後ほど私が説明します そして、なんとこのゲームでは●初心者でも、ゲームを楽しみやすくさせるような、説明付きのチュートリアルをプレイすることができます このチュートリアルでは、ゲーム内でどのようにキーボード操作をすればいいか知ることができ、押したキーに合わせて、今流れてる映像のように、アイテム欄が表示されたり、画像が変化したり、矢印が動いたり、ティラノサウルスが説明して教えてくれたりと 私たちがまごころをこめた、とても分かりやすいチュートリアルとなっております さらに統計も取っています。実際にチュートリアルを見てもらい、その内わかりやすいと回答した人は、わかりにくいと回答した人の、2.5倍以上の人数になり、圧倒的好評という結果にもなりました しかし、チュートリアルがわかりやすくても、ゲームの難易度についていけない人もいるでしょう、なのでなんと●設定画面から、ゲーム難易度を調整できるようにもしました さらにわかりやすくなるように●設定画面でも説明文が出るようになっており、さらには説明画面内のティラノの目が光るようなこだわりもあります これにより、ゲームが苦手な初心者から上級者まで、得意不得意関係なくゲームを楽しむことができるようになっております そして私は、ゲーム内のゲームオーバー画面の制作なども手掛けたので、その部分の説明も先にしていきます しかし念のため、●警告です この先とても恐ろしい映像が流れます。心肺が弱い方や怖い演出が苦手な方は、目と耳をふさいでください。●では流します いやー怖いですね このようにゲームをクリアできなかった場合身の毛もよだつような映像が流れます。しかし、ゲームオーバー時のアピールポイントはこれだけではありません なんと、●ゲームオーバーの仕方によっては、いきなりノベルゲームが始まり クリアできなかった主人公がどのようになってしまったのか？ がわかるような機能も導入されています このように、ただ驚かすだけではなく、ゲームオーバー後の物語を ノベルゲーム形式で楽しめる面白さも備わっています さらにゲームオーバー時だけではなく、●ゲームクリア時にも映像が流れるようになっており、クリア時はエンディングロールが流れるようになっております、実際にその映像をお見せしましょう いやーこれはすごいですねー このように迫力ある映像が流れるようになっております それでは、●私が制作を手掛けた、上から3番目にあるスタートボタンから遊べる、佐々木偏というゲームの説明をしようと思います ちなみにこのゲームとは別に、上から二番目の スタートボタンを押すと遊べる、高橋の過去というゲーム内では、●主人公のお友達、佐々木という人物が行方不明になるシーンがあります この今から説明する3番目のゲームは、その行方不明となった 佐々木がその後どうなってしまったのかを再現

したホラーゲームになっています それではこのゲームの解説に移ります●このゲームは、ファイブナイトアットフレディーズのようなホラーゲームになっています そして、ゲーム内では、カメラを見たり、シェルターを閉じたり、上から襲ってくる化け物の動きを確認したりと 様々なことができるようになっていきます、そして中にはなんと●システムボタンを押さなければいけない要素や、時間内に作業を終わらせなければいけないというような要素もあり 化け物に襲われないように計算しながら、作業を進めていかなければいけないという、頭と、素早い操作が求められる面白さが詰まったゲーム作品となっております。● それでは次に私が主に制作を手掛けたスタートボタン上から 1 番目にあるゲーム、

デーモン編

メインゲーム

でびるティーレックスでーもん編の説明をしていこうと思います。 このゲームは、●主人公の高橋が、とある学校から脱出を試みる、 3Dのホラー脱出ゲームとなっております このゲームは、●主人公をWASDで操作することができ ゲームプレイ中時々、主人公の高橋の発言が プレイ画面左下に表示されるようになっています そしてさらに、移動すると同時に、●操作キャラクターの3Dモデルが動くようになっていきます なんと、歩く方向に応じて、操作キャラクターのモーションが変わるようになっており 前、右、左、進行方向に応じて歩き方が変化するという細かいこだわりがあります それだけではなく、●ゲームプレイ中、画面左上に目標というものが表示されるようになっていきます これは、今自分が何をすればいいのか？が書かれており、これにより ゲーム進行につまずく回数を減らせるようになっています これだけでは、ゲームにつまずく要素がない簡単な脱出ゲームになってしまうでしょう なので、なんと、●アイテムがなきゃ通れない通路を作りました さらに、ただアイテムを拾うだけではなく、●アイテム同士を合成して新しいアイテムも作れるようにしました ちなみにアイテム欄を開くと、このように、●ゲットしたアイテムのアイコンと、アイテムの状態を説明する文が映るようになっていきます そして中には、●このゲットした際に見れる説明文をもとに壁のレバーを引いたり、チェストを開けたりするような謎解き要素もあり、 それだけではなく、●マップ内にあるミにゲームをプレイして、新たなアイテムをゲットし、 そのアイテムの情報を頼りにパスワードの数値を揃えるような、謎解き要素も備わっています しかしこれだけでは、ホラー要素がない普通の脱出ゲームになってしまうでしょう なので●ティラノサウルスを なんと、マップ内に、怖いBGMと同時に叫びながらプレイヤーを襲いに来るティラノサウルス がうろつくようにしました なんとティラノサウルスにもアニメーションがついており、おそわれている恐怖感を味わいやすくする工夫が組み込まれてあります しかし、ただ決まった動作しかないティラノサウルスですだと 少しリアリティーが薄れる面もあるでしょう、なので●ティラノサウルスにA I 機能を搭載し、時々 自力で考えて行動するようにしました これにより、実際にティラノサウルスが 頭を使って追いかけてきているかのような、リアリティーある面白さもあります 先程、スタート画面でのべた敵の数を設定する機能でティラノを増やすことができますが 数多くのティラノが追いかけてくるようになると、巻いたり、隠れたりすることが困難にもなってくるでしょう なのでなんと、●マップ内のところどころにロッカーを設置して、中に隠れるようにしました 近くで入るところを見られるとそのまま襲われますが ロッカー隠れながら探索することにより 時期を見計らって動く面白さ、隠れながらティラノをやり過ごす面白さがより大きくなるようにしています

ミニゲーム

さらにこれだけではなく、なんとこのゲームでは、●カードゲームをしなければいけない場面も登場します このカードゲームではカードとティラノとの対話を通して様々なストーリー小話を知ることができます カードはただのトランプカードでなく血痕で作ったトランプカードで 操作するごとにティラノが何かをしやべってくれます 背景も含めティラノとの対話に没入できるでしょう ゲームクリアすると、なんと光ります!!256の三乗色に光ります!!

屋敷編

●それでは最後に私が制作を手掛けた、上から2番目のスタートボタンから遊べる、高橋の過去編というゲームの説明をしていこうと思います。先ほど、ティラノサウルスのいる屋敷から脱出するゲームを紹介したと思うのですが、高橋の過去編というこのゲームは高橋が●その屋敷に入るまでの背景やきっかけがわかる青鬼のようなフリーホラーゲームを3Dに進化させたようなゲームです。そして屋敷の中では、Qキーを押して●マップ内の壁や気になる個所を調べることができ、調べる際はQキーで調べると、表示が映るようにもしました。ちなみに調べると、調べたものに対する主人公高橋の考えやセリフが、●一文字ずつ表示され、同時に高橋のイラストが右側に表示されます。そして、このようにセリフが表示されてる間はQキーを押すことで、今流れている映像のように、続きの文に移動することができます。さらに、文章を読むのが面倒と感じたら、●好きなタイミングで文章をスキップできるよう二もなっており、ゲーム内の文章を、自分のペースで読めるようにもなっていますしかし、マップ内の気になる個所を調べられるだけでは、少し物足りない部分があるでしょう、なので●壁を調べたときに、高橋が述べる考えやセリフを参考にして、頭を使う謎解き要素も取り入れました。さらにボタンの前に立つと、Qキーでボタンを押す、と表示が映るようにもなっており操作がわかりやすくなっています。さらにそれだけではなく●マップ内のブロック数などを参考に、4桁の数値を割り出して、ロックを解除しなければいけないような謎解きもあります。パスワードが間違っていると、違いますと左の映像のように表示され、正しいと、ドアのロックが解除されます。さらに頭を使う面白さだけではなく●ゲーム中は様々なマップが登場するようにして、屋敷内を冒険する楽しさが味わえるようにもしましたしかし、このようにマップが大きくても、登場人物が主人公の高橋だけでは、少し物足りない部分もあるでしょう、なのでなんと。●屋敷内で、様々なキャラクターが高橋の前に立ちあはだかるようにしました、登場するキャラクターが喋る際も、高橋と同様な形式でセリフが表示されるようになっており、出会いと会話が多く含まれた、ストーリー豊富な面白さもあります。さらに会話中、●3Dキャラクターが動くようになっています。体をひねらせたり、手を動かしたり途中で別の場所に移動したりと、それぞれのキャラクターが個性的な動きをするようになっています。さらに表示される、会話の文やセリフに応じて、●BGMが変わるようにもしました、これにより、キャラクターや会話の雰囲気、伝わりやすくなるような工夫も備わっております。そして会話中だけではなく●マップ探索中にも別のBGMが流れるようになっており、BGM以外にも、歩いた際の足音や、ドアの音、ボタンを押す音、キャラクター同士の衝突音や、アイテムゲット時の音など、短時間では説明しきれないほど効果音に多くのこだわりがあり、様々な場面であるようになってます。しかし、音だけでは、ハラハラするような緊張感ある面白さは味わえないでしょう。なのでなんと●勝ち負けが存在する、バトルゲームをする場面も加えました。さらにこのバトルゲームはふたつのゲームを合体させたもので●音楽ゲームの、リズムカルにキーを押さなければいけない面白さと、タイピングゲーム、の様々なキーを押さなければいけない難しさのふたつを兼ね備えた、リズムタイピングゲームというものになっています。このゲームについて少し説明します一般的な音楽ゲームと呼ばれるものは、●音楽に合わせて指定の場所を押すゲーム方式ですが、このゲームは、英語のスペル入力に沿ったキーを押さなければならないゲーム方式になっています。このように、押すべきキーの箇所を、英語のスペル入力に沿ったキーに変えることで、●次、どのキーを押せばいいかが予測しにくくなる面白さがあり、さらに音楽を楽しみつつ、タイピング能力向上を図れる利点も兼ね備えた、バトルゲームになっています。さらに、屋敷内には●様々なバトル相手も登場し、相手によって、スペルの長さ、難易度が変わるようにもなっています。また、バトルがあるだけではなく、このゲームでは屋敷内に落ちているアイテムを拾うこともできるようになっており●拾ったアイテムを使って新マップに行ったり、新アイテムをゲットしたり、自動ドアを開けたりと、様々なことができるようになっていきますアイテムをゲットすると、●アイテムをゲットしましたと表示が映るようになっており さらに手持ちのアイテムが、アイテム欄を開いてわかるようにもなっていますそして中にはなんと、アイテムを活用して●エレベーターに乗る場面もでできます、そして、エレベーターに乗ると、●このような画面が映り、行きたい階を選択して階移動することができます。そして選択後は、●映像のように、床が上下に移動するようになっており、同時に音もなります エレベーター内の

壁にある、1 Fや2 Fという数字から、いま何階あたりまでエレベーターが移動したのかが、現実のエレベーターのようにわかりますそして●目的の階に到着すると扉が音を鳴らすと同時に開き、そしてエレベーターを降りて後ろを振り向くとエレベーターのドアが音と同時に閉まるようになっており、エレベーター内で鳴る音はすべて●私のビートボックスの音になっています。そしてなんと、ゲーム内には、アクションゲームを好むような人でも楽しめるようなアスレチック要素も備わっています●上下に動くブロックに乗ってジャンプしたり、動く床から落ちないように移動したり、動く床や綱の上からジャンプしたり、綱渡りをしたりと、様々なアクション要素が登場します。しかし、このようにタイミングを狙ったり、落ちないように慎重に捜査するアクション要素だけでは、物足りないと感じる人もいるかもしれません。なので、なんと、●マリオカートのようなレーシングゲームをする場面も取り入れました、それではこのレーシングゲームの説明をしていきます。●ゲームを開始すると、最初に操作方法と、レースが行われるきっかけが記された文がそれぞれ表示されます。その後レースが始まると、●三,二,一とカウントダウンが始まり、カウントが0になると同時にスタートと表示され、レースが始まります。またカウントダウンと同時に効果音が鳴り、●目の前の信号のような3色のライトが順番に光るようになっています、そしてスタートするとBGMが流れ出します。ちなみにスタート後、●他の車とぶつかったりゴールゲートにくぐったりした際にも音が鳴るようになっていきますそして車にはなんと加速度を付けるという車らしく動作する工夫も備わっております●さらにコース内には、マリオカートのように、分かれ道や、ショートカット、邪魔する動く壁やジャンプ台など、様々なアクション要素が登場します。さらにレース中、他の車の位置が●画面左下に映り、画面右側には、ほかの車が何週は知ったのか、どのぐらいの距離は知ったのかという情報が細かく映るようになっていきます。このように、相手の車情報を確認しながら走れる面白さもあります。さらに、レース中は、●コースアウトしたら、流れている映像のように一番近くの道路に復活するようになっていきます。それだけではなく、●自分以外の車は、分かれ道をランダムで選び、時々ランダムで速度を変えるようになっていきます。これにより、レースの結果が予測できないという面白さがあります。しかし、車の種類が一種類だけではつまらないでしょう、なのでなんとなんと●様々な自動車が登場するようにしました、洗車や、ティラノや人間などの様々な形をした車が走るようになっており、中には、実際に形を変えたり、足が動いたりするような車も登場します。このように、この高橋の過去偏というゲームは、様々なジャンルのゲームが楽しめる作品となっております

技術

それでは最後に軽く技術説明をします●このゲームは、AVIUTLやBRENDER、アフターエフェクト、ペイントソフトといった数多くのソフトを利用して作られていますそして、なんと、BGMから、いらすと、3Dモデルやマップまで、ほとんどすべて自作の素材を使って作られています、●さらにBGMに関しては、プロの音楽家も使う総合10万円以上のシンセサイザーの音で作られています。そして、このゲーム内では、敵の動作プログラムや、エンディングロールの動画でゲーム内の機能としてのAIも、制作の手助けや制作物生成としてのAIも大いに活用しています、そして●様々なこだわりが詰まっていることもあり、ゲームのDFDもこのように、とても複雑なものとなっております●そして、スタート画面にある、動くアニメーションは、アフターエフェクトというソフトで画像をうまくつなぎ合わせることで、ティラノ独特の動きを再現しましたこれで、発表を終わります